

労働社会学会会員各位

過日、『労働社会学研究』のエントリーおよび投稿希望書の申し込みの延長について会員皆さまに告知を致しましたが、一部の会員に対して通知メールが配信されなかったことが分かりました。編集委員会で検討した結果、会員間の公平を期すため、今回のみの措置として以下の通り、再度、延長期間を設けたいと思います。会員の皆さまにはふるってご応募いただきたいと存じます。

なお、既に応募頂いた方も原稿の締切は7月20日とさせていただきます。

投稿希望書締切：6月30日

原稿締切：7月20日（消印有効）

『労働社会学研究』第7集の原稿を募集します。

『労働社会学研究』に投稿を希望される方はまず、山下まで郵送で投稿希望である旨のご連絡をいただきたいと思います（書式は自由です）。その後、下記の事項を記載した投稿希望書（書式自由、以下の記載事項を明記のこと）を山下充編集委員長宛まで 郵送（168-8555 杉並区永福1-9-1 明治大学経営学部山下充）かファックス（03-5300-1203、経営学部山下充宛と明記のこと）で希望書をお送り下さい。

会員皆様方には、実態調査に基づく論文・研究ノートをふるってお寄せいただくようお願い申し上げます。なお、投稿および投稿申込みにあたっては『労働社会学研究』既刊号に掲載されている投稿規定および確認事項を熟読されるようお願いいたします。原稿につきましては投稿規定の改正によって、24,000～32,000字となりました。これまでよりも制限字数が少なくなりましたので、投稿の際にはご注意ください。

投稿の際には第5号あるいは近刊の第6号の投稿規定をご確認ください。不明な点は、山下までお問い合わせください。なお、本雑誌は若手の研究者に限らず労働社会学会の会員の皆さまに広く開かれた雑誌です。意欲的な実証研究の投稿をお待ちしています。

また今回から、投稿される論文をより良いものとするため、投稿希望者の方に、投稿頂く内容について研究例会での報告の機会を提供することとなりました。研究会での報告は投稿にあたっての義務ではありませんが、研究会を通じて有意義なコメントが得られるものと期待されますので、可能な方はぜひ研究会で報告していただきたいと思えます。

記

1. 刊行スケジュール

投稿希望書締切・・・・・・・・・・2005年6月30日（当日消印有効）

原稿締切・・・・・・・・・・2005年7月20日（当日消印有効）

発行予定・・・・・・・・・・2006年1月下旬

2. 投稿希望書送付先

山下 充（『労働社会学研究』（通称「ジャーナル」編集長））

郵便：168-8555 杉並区永福1-9-1 明治大学経営学部山下充

ファックス：03-5300-1203，経営学部山下充宛と明記のこと

3. 投稿希望書記載事項

- (1) 氏名
- (2) 連絡先（〒・住所・電話番号・FAX番号・E-mailアドレス）
- (3) 所属機関・職名（大学院生の場合，修士課程・博士課程，学年など）
- (4) 論文の題目・予定枚数

- (5) 論文の概略
- (6) 使用ソフトの名称
- (7) その他，編集委員会への質問等

4.原稿送付先

原稿の送付先は追って投稿者に通知致します。